



税の作品での活躍

租税教育の一環として行っている、「小・中学生の税の作品」で、帯西から6年生の田上環子さんが「ポスターの部」において、「熊本市教育長賞」を受賞しました（右図が該当作品）。「標語の部」において、5年生の陳俊鵬さんが「熊本間税会長賞」を受賞しました。他にも、「ポスターの部」で6年生の北川葵さんが金賞、5年生の寺床絢菜さんが銀賞、6年生の佐藤鈴珠さんが銅賞を受賞しました。

さらに「税に関する絵はがきコンクール」で、6年生の後藤杏夏さん、江田彩葉さん、5年生の大櫻和蓮さん、唐津結宇さんが、入賞しました。この絵はがきコンクールは、子供たちの活躍によって入賞者が多数いたおかげで、学校賞もいただきました。

作品作りに取り組んだ全ての子供たちに感謝です。



救急救命講習会がありました

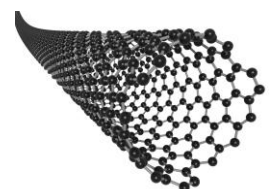
16日（土）に、PTA 保体委員会による救急救命講習会がありました。消防署出水出張所による消火・救急講座がありました。地域の方も含め50人程参加され、消防署から、今の熊本市の救急の現状や、様々な想定のもとでの、救命処置の訓練を実際に心肺蘇生や AED を使った訓練を行いました。小学生も多く参加し、実際に心肺蘇生の訓練を行うことができました。

今回の経験で共有したことが見通しにつながり、実際の災害時にみんなが落ち着いて行動でき、救命につながると考えています。参加してくださった保護者の皆様方、ありがとうございました。



電気を流せるゴム

放課後になると、校長室の窓からは、家路を急ぐ子供たちの声が聞こえてきます。ある日の放課後、「ゴムゴムの実を食べたから〇〇イは、電気を通さないんだよ～」と友達と話している子供の声がしました。私たちは、ゴムは電気を通さないと習ってきましたが、実は電気を通すゴムはあるのです。この原理は、「カーボンナノチューブ」という炭素原子とゴムを複合化して作ると電気がよく流れるようになります。カーボンナノチューブは、30年ほど前に、日本の科学者が発見した物質です。カーボンナノチューブが入ったゴムは柔らかくて電気を通しやすいので、人間の身体に密着して使う医療器具に優れています。このゴムは柔らかいだけでなく、高温にも強いので、工業部品にも効果を発揮しているそうです。人間のアイデアは、漫画の世界も超えていくときがありますね。



カーボンナノチューブの分子構造